

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 森林・山村多面的機能発揮対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林活用推進課 緑化推進係 電話番号：058-272-8255

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,323 千円 (前年度予算額：1,446 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,446	1,446	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,323	1,323	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

森林の有する多面的機能を発揮させるため、地域の活動組織（地域住民グループや地域と一体となった活動を行うNPO等）が実施する里山林の保全管理や山村活性化に資する取組に対して国が活動交付金を交付し支援する。

県は活動組織に対して指導、助言等を行うとともに、市町村の事業推進指導等に対して推進費を交付する。

(2) 事業内容

・県推進費

県が実施する地域協議会の設立支援、市町村への周知、（必要に応じて）活動組織への周知・指導・助言

・市町村推進費

事業の推進・指導、森林所有者と活動組織との協定締結の支援及び認定、活動組織の規約制定の支援、活動組織への指導・助言

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助事業（定額補助）により県負担はない。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	123	業務旅費
補助金	1,200	市町村推進費
合計	1,323	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

1 森林づくりの推進

(1) 災害に強い循環型の森林づくり

(ウ) 森林経営管理法に基づく市町村による森林管理の支援

(d) 森林づくりの多様な担い手の育成と支援

(2) 国・他県の状況

事業の実施主体となる地域協議会の設置県 47都道府県

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

国の要綱により、岐阜県森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会を事業主体として設置している。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
里山林の保全管理や里山の資源を活用した活動等に継続的に取り組む団体を育成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R24)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①里山林活動実施 団体数	—	27	50	50	50	54%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	地域住民等が主体となった活動組織29団体が里山林整備、竹林整備などを実施している。 指標① 目標：50 実績：29 達成率：58%
令和3年度	地域住民等が主体となった活動組織27団体が里山林整備、竹林整備などを実施している。 指標① 目標：50 実績：27 達成率：54%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 2	森林の多面的機能の発揮とともに、山村地域のコミュニティの維持・活性化を図るために、地域住民等から構成される活動組織が実施する森林の保全管理や森林資源の活用を図る取組を支援する必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 1	地域住民が主体となった27団体が里山林整備等を実施しているが、目標団体数に及んでいない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 2	国から地域協議会を通じて活動組織に交付金を交付しており、効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 活動組織の活動の活性化を図るため、地域外関係者を受け入れるなどの関係人口の創出・維持等の活動が必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 森林の多面的機能の発揮のために、引き続き活動組織の里山林の保全活動等を支援するとともに、関係人口の創出に向けた取組を支援する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】